

陳 情 文 書 表 (平成29年6月2日定例会提出)

陳情第44号

「地球と人間を守れる社会体制づくり」のための地球社会建設決議陳情書

平成29年4月10日受理

陳情者 ●●●●●●●●●●●●●●●●
荒 木 實

国を守るための戦争が地球を壊す。経済成長を求めて地球を壊す。国際社会の正義。「富国強兵」の世界。軍事力・巨大な破壊力に支えられた権力者たち。「国を守る」ための凄絶なチキンゲームに没頭しています。生存競争の思考の中、地球で生きている人間たちが凄絶な経済競争をしています。軍拡と温暖化は進行し、世界の危険と異常さは極限にきています。地球と人間・生命を守るために軍備をなくし経済活動を抑えなければなりません。全ての人間が地球で生きています。絶対事実です。生きるためには地球を守れる社会体制をつくるしかありません。地球社会建設は、全地球市民に対する絶対命令です。ついては、「地球と人間を守れる社会体制づくり」のための地球社会建設決議をしていただくよう陳情します。

地球社会建設決議草案

- 1) 全ての人間が、地球で共同生活をしている地球市民である。地球市民は、地球のとうとさ、人間の尊厳のとうとさ、地球世界の美しさ、人間の美しさを知る者である。
- 2) それぞれの持ち場で地球社会の安全と繁栄に努力することが、地球市民の基本的義務である。
- 3) 地球社会の目的・目標は、地球全生命とともに、全ての人間の人生を守ることにある。そのため、教育・雇用・生活を保障する社会技術の開発に努めねばならない。この規定は、人類の戦争放棄を意味し、国家の戦争行為、戦争準備行為の権利がないことを宣言するものである。地球市民を暴力から守る「守り人の組織」は、地球社会で一元化されるものである。
- 4) 人道・人権は地球社会の基本法である。独裁はいかなる形態でも許されない。地球社会は、民主主義が機能する社会格で構築されるものである。行き過ぎた生存競争は、人間の醜悪な心を導き出し、強大な力を求めさせ、この基本法に反することになることを知らねばならない。
- 5) 陸・海・空の空間、石油ほかの資源、先人の遺産は、現存する地球市民全員の共有である。地球市民の生活空間は、貸借関係保障によるものであり、多大な占有はあり得ない。地球社会で領土問題はあり得ない。
- 6) 考えることさえできない時間、そして考えられない偶然の積み重ねで、生命が守られる地球環境がある。この地球環境の保全こそ、全てに優先されるべきである。自然の整然化。国家、

集団、個人の利益の計算を超えた巨大で絶対的利益である。地球を守る人間社会体制の創造は、全市民が参加すればできることである。人間にはその力があると確信するものである。

反原発の声は上がっています。核廃絶の声は全くしません。核廃絶は意味がなくなっているのでしょうか。この決議は「国を守るため」の根拠・口実をなくし、世界中の軍人たちの「仮想敵のせん滅訓練」の根拠・口実をなくします。権力者たちのチキンゲーム外の人間たちができる唯一の手段です。

生きるための努力を始めるか否か、助け合い社会を目指すか否かです。